

2022年8月4日

各 位

会 社 名 宝ホールディングス株式会社  
 代 表 者 名 取締役社長 木村 睦  
 (コード番号 2531 東証 プライム市場)  
 問 合 せ 先 財務・IR 部長 宇佐美 昌和  
 T E L ( 0 7 5 ) 2 4 1 - 5 1 2 4

2023年3月期の連結業績予想ならびに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月12日に公表した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績予想ならびに配当予想を下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1)2023年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2022年5月12日発表)	146,000	15,000	15,400	8,100	40円97銭
今回修正予想 (B)	159,000	16,700	17,200	9,100	46円03銭
増減額 (B-A)	13,000	1,700	1,800	1,000	-
増減率 (%)	8.9	11.3	11.7	12.3	-
ご参考:前期実績 (2022年3月期第2四半期累 計)	141,213	21,616	21,884	10,050	50円84銭

## (2)2023年3月期 連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2022年5月12日発表)	301,000	30,000	30,400	16,000	80円93銭
今回修正予想 (B)	322,000	31,700	32,300	17,300	87円50銭
増減額 (B-A)	21,000	1,700	1,900	1,300	-
増減率 (%)	7.0	5.7	6.3	8.1	-
ご参考:前期実績 (2022年3月期)	300,918	43,354	43,230	20,769	105円05銭

## (3)修正の理由

通期の売上高につきましては、宝酒造インターナショナルグループでは、海外日本食材卸事業において料飲店市場が好調であることに加えて小売店ルート等も堅調であり、海外酒類事業も厳しいコロナ規制下にある中国を除き好調に推移する見通しです。また円安も寄与し、期初予想を上回る見通しです。宝酒造では10月に価格改定をするため、9月に前倒し需要が発生することが予想され、上期が増収、下期は減収となりますが、通期ではほぼ計画通りとなる見通しであることから、グループ全体では期初予想を上回る見通しです。

利益面では、宝酒造インターナショナルグループでは売上高の増加により売上総利益が増加し、販売費及び一般管理費が増加するものの、営業利益は期初予想を上回る見通しです。宝酒造は、エネルギー価格や原材料価格の高騰、円安などによるコストアップがあるものの、価格改定と新商品等で補い、営業利益は計画通りとなる見通しです。これにより、グループ全体では営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、期初予想を上回る見通しです。

なお、タカラバイオグループは2022年5月12日に発表した前回予想を据え置いております。

## 2. 配当予想の修正について

## (1)修正の内容

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年5月12日)		29円00銭	29円00銭
今回修正予想		31円00銭	31円00銭
当期実績 (2023年3月期)			
前期実績 (2022年3月期)		37円00銭	37円00銭

## (2)修正の理由

当社の株主還元方針は、持続的な利益成長に合わせて、配当性向で 30%台後半となる安定的な配当を継続することとしており、今回の業績予想の上方修正を踏まえ、2023 年 3 月期の配当予想を 2022 年 5 月 12 日に公表した 1 株当たり 29 円から 31 円に修正いたします。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、これらの数値とは異なる可能性があります。

以 上

---

### 当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。